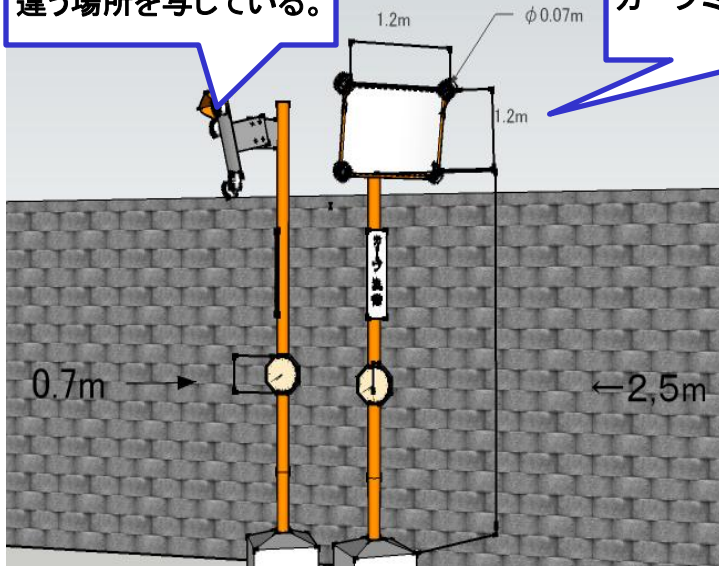


カーブミラーと周辺の改善

目的: 交差点での自転車の飛び出しを防止し事故を未然に防ぐ

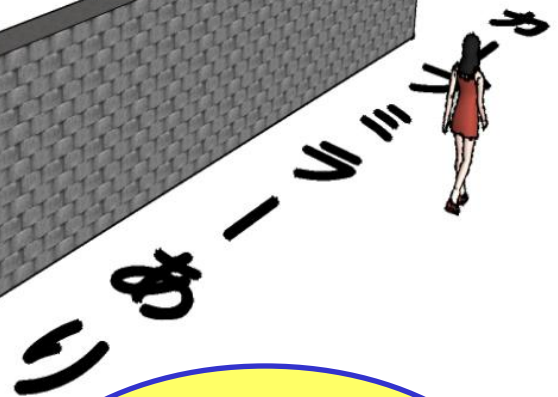
問題点2
カーブミラーが全然
違う場所を写している。

問題点1
カーブミラーが目立たない。

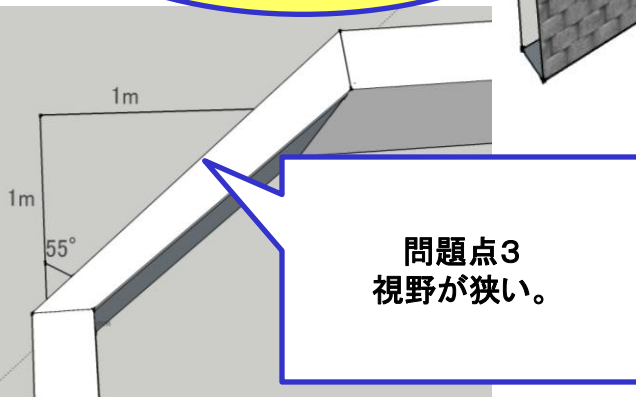


解決策1
カーブミラーの大きさ、
高さ、角度を変えて正
確に交差点を捉えるこ
とができる。

解決策2
・道路に「カーブミラーあり」と
書くことで、一早く気付かせる
ことができる。
・ライトや時計を付けることで、
目立たせることができる。



解決策3
壁の角を取り除くことで、
交差点の視野を広くする
ことができ、迫ってくる自
転車を早く発見するこ
とができる。



問題点3
視野が狭い。

まとめ

カーブミラー自体と周辺の改善によって、カーブミラーの存在を目立たせることができる。そうすることで早く確認でき、正確に判断してから角を曲がることができる。なので、事故を未然に防ぐことができる。

金沢工業大学
2011年度 プロジェクトデザインII

プロジェクトテーマ : カーブミラーと周辺の改善
クラス番号 : VE
チーム番号 : 1
チーム名 : 1
チームメンバー名 : 金津彰人 木野勝之 久保田丞輝 瀬畑和樹 和田明久

担当教員名 : 神山 藍